



## 大百科の真髓 1/2

今復習しているのがどこの部分なのか確認しながら行うこと。

どれかひとつ欠けてもマイナスになる  
すべてをやっ  
はじめてプラスになる

### (数字を稼ぐ場所として) マーケットの正体&設計図

大きくのびる玉を持つことが、マーケットで勝つ秘訣である **ダウトレンドにまきこまれない**

勝率の幻想 (7割限界)  
基本の大切さ  
特定のパターンに偏らない

損失限定:利益目標  
||  
1:2以上が理想

見込める利益が大きくて  
損切りまでの距離が  
小さいものを狙う

テストに出る所に集中すれば株式市場で生き残ることが出来る

必要な基礎知識の記憶

代表的なチャートの  
パターンの記憶

具体的な銘柄  
発掘方法の理解

マーケット研究  
銘柄発掘

トレードシナリオを考える

・自分の好きな市場  
・銘柄へのこだわり ) ダメ

マーケットに  
自分をあわせる

マーケットサイクルの理解

※話題に左右される銘柄には手を出さない  
特にダウトレンド時の損切りを  
ニュースや話題に邪魔されない  
ようにすること!!

マーケットは (上げ 下げ もみあい) を必ず繰り返す

リスク管理

心理コントロール

「森を見て、木を見る」  
日経平均全体のトレンドに合わせた研究を

自分の限界を知る  
投入金額に制御

損切りの時の金額を自分の心が  
許せる範囲内で決めておく!!

## 大百科の真髓 2/2

目的:もみ合い&下げ相場で安定的に稼ぎ、上げ相場で大きく取る

理解  
マーケットの設計図の  
営業マンと同じく数字として結果を出す  
特定のパターンに偏らない  
基本の大切さ  
勝率の幻想 7割限界

最低限必要な  
テクニカル知識の  
理解+ファンダメンタル  
(営業CF)  
日足、週足、月足、出来高

代表的な **チャートパターン**  
の記憶 (経験を積んでパターンを多くしていく)  
上げ、下げ、もみあいの各サイクルごとにチャートの出現頻度が異なる。  
3つのマーケットサイクルが入れ替わることを常に意識する  
★トレンドの転換点で損を出すのは仕方ない

銘柄発掘方法の理解  
チャートリスト  
ランキング } リスト作成

全体相場の予測  
(日本、アメリカ)  
個別銘柄の現在の  
チャート傾向の把握

飛行機が部品ひとつ欠けても飛べないように、  
トレードとは、この設計図上どれか1つでもやらないと損を出してしまう  
儲けるには1つでも欠けてはならない  
何か1つ崩れるとドミノのようにすべてが崩れる  
損が出てしまっている時は必ずマーケットの設計図を見直して、欠けている部分を補うこと  
常にどの位置に今いるのか、何とつながっているのかを意識して勉強する

ルールを守ること  
利益がのっている時でも必ず守る  
利益をとりたくても変なクセをつけてはダメ

心理コントロールの意識

リスク管理  
(投入資金の抑制、  
損切りを守る)

売買シナリオの作成  
買う位置、投入資金量 (資金量の幻想の排除)  
目標株価、損切り株価  
★ダウトレンドにまきこまれない→損切りの意義

デイトレーダーの優位性  
場を見るのではなく、  
研究に時間を割けるから

やるかやらないか  
差が出る作業

複数のパターンをイメージ  
(特にダメだった時が重要)  
資金力のある人のメリットは売買シナリオを多く試みることができ、いい銘柄に当たる確率が高くなること

利益なるべく大  
損切りなるべく小  
(ここの利益の数字を大きくしていくことが、上級者への課題)  
損切りクリック押せるか、押せないか